

令和5年度 第8回 くまもとサイエンスカフェ

フィールドワーク

震災遺構からのまなび

— なにもないのがふつう —

3/3 (日)

13:00 - 16:00

話題提供

熊本県観光戦略部観光国際政策課
松村政秀 (熊本大学)

熊本地震では多くの被害が発生しました。地震から7年経ったいまでは地震前と同じように通行できるようになりましたが、被災したインフラ構造物の中でも、復旧に時間を要したのが橋(はし)でした。復旧後「なにもない、なかったのがふつう」のなかで、熊本地震の発生からいまに至るまでの記憶や経験、得られた教訓を確実に後世に伝えるため、回廊型のフィールドミュージアム「熊本地震 記憶の廻廊」の取組みが県と被災市町村で進められています。熊本地震震災ミュージアムの取組みに携わる県職員の方から、その思いと今後の展望を紹介いただきます。さらに、普段は通過しかしない橋のたもとに立ち止まり、土木工学の視点から橋がどのように破壊され、そして修繕され今はどのようになっているのかを紹介します。

今回のサイエンスカフェで、震災遺物の展示や橋のフィールドワークから「なにがあるのか」さがしてみましよう。そこから、防災や人と自然との共生のあり方について改めて一緒に考えます。



くまもとサイエンスカフェとは？

お茶を飲みながらゆったりとした対話形式で、熊本の自然や歴史を学び、得られた知見を暮らしや防災・減災に役立て頂くことを目的とした取り組みです。

参加
無料



会場：南阿蘇村旧立野小学校
(南阿蘇村立野1596)

対象：どなたでも

共催：熊本大学・熊本県・南阿蘇村
国土交通省阿蘇砂防事務所・熊本地方気象台
阿蘇青少年交流の家



お申込み・お問い合わせ先

熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター
減災型社会システム部門

下記 Web ページか下の二次元コードからお申込み下さい。

<https://cwmd.kumamoto-u.ac.jp/disaster/>

お電話の場合は 096-342-3489 (平日 9:00-16:00)

締切り 3月1日 12:00 (ただし定員に達し次第締め切ります)

定員30名

お早めに！



熊大 減災センター



サイエンスカフェ年間スケジュールなど詳細はHPをご覧ください